■頼三樹三郎　　儒学者，志士。頼山陽の子。<ペリー来航>に悲憤慷慨，<戊午の密勅>を画策し，<安政の大獄>で斬首。
らいみきさぶろう
異国船打払令1825＝　　京都三本木(京都市上京区南町)で_頼山陽の三男に生まれる。

ｼｰﾎﾞﾙﾄ事件・1828＝ 3歳：

鼠小僧磔・・1832＝ 7歳：父が死去，

高島砲術・・1834＝ 9歳：
滑稽+人情本 1835＝10歳：大坂に下って後藤松陰の塾に入り，かたわら篠崎小竹に学んだが，

大塩平八郎乱1837＝12歳：
適塾ｵｰﾌﾟﾝ・ 1838＝13歳：_来坂した羽倉簡堂に伴われて江戸に遊学，昌平坂学問所に入寮したが，

順天堂始・・1843＝18歳：

阿部正弘首座1845＝20歳：
孝明天皇・・1846＝21歳：_上野不忍池に遊んだ際，弁天堂の石燈を倒して寛永寺の咎めを受け，退寮を命ぜられた。東北漫遊の途につき，三厩口から松前に渡り，江差で松浦武四郎と一日百詩・百印の雅興を楽しんだ。
・・・・・・1847＝22歳：蝦夷地を去って本土に戻り，
北斎没・・・1849＝24歳：_帰京して家塾を守り，

_梁川星巌・梅田雲浜らの諸儒と交わるうち，
万次郎帰国・1852＝27歳：
ペリー来航・1853＝28歳：_外艦の渡来に皇国の安危にかかわると悲憤慷慨，

安政大地震・1855＝30歳：_母が死去して以降，家を忘れて国事に奔走し，

五ヶ国条約・1858＝33歳：*将軍継嗣問題には一橋慶喜の擁立を画策し，星巌と謀議して，水戸藩に勅書が降下することを近衛忠熙に入説し，星巌の宅で西郷隆盛・大楽源太郎らと時事を議した。水戸藩に<戊午の密勅>が降下すると，幕府が起こした<安政の大獄>に連坐し，捕えられて六角の獄に投ぜられ，
安政の大獄・1859＝34歳：*江戸に檻送され，福山藩邸に預けられ，評定所の糺問の後，死罪を命ぜられ，伝馬町の獄で斬首の上，遺骸は南千住の小塚原に棄てられた。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，